

ヨーロッパの石造りの建造物で弾いた時の音を想起させる理想の響き！
長年探していた、弦楽器の様々な音色や細やかな表現、そして最弱音まで味わうことができる空間に、分倍河原のミエザホールで出会いました。

この素晴らしい響きに惚れ込んで、新しいコンサートシリーズを開始します。毎回、バロックチェロでJ. S.バッハの無伴奏組曲を演奏するほか、モダンチェロも使って古今の無伴奏作品、またゲストを迎えてのプログラムなど、都心まで出掛けなくとも、充実した音楽を間近にお楽しみいただきたいと思います。記念すべき第1回はこの企画にぴったりな音楽家、ギターの塩谷牧子さんとのアンサンブルをお届けします。

塩谷さんとのデュオは、2011年の東日本大震災後に都内で行われた、福島から避難してきた人々を支援するイベントで演奏したのが始まりです。そして今、世界的な感染症の流行によって社会活動が制限され、人と出会うこと、一緒に音楽をすることが、どんなに人間にとって大切なことか痛感しています。音楽による心の交流を大切に私たちのアンサンブルで、みなさまの心身が少しでも安らぎますように。

実はミエザホールには駅前開発による立退き話が持ち上がっているそうです。ホールは楽器であり、音楽を成り立たせる大きな要素であり、演奏家や聴衆が大切に使うことで「名器」に育っていくものです。同じ方法で再建したとしても同じ響きが約束されるものではありません。

人も音楽も建物も地球上に存在する間に、思う存分生かされることを願っております。

2020年10月 富田牧子

富田牧子 *Makiko Tomita, Cello*

バロックと現代のスタイルの楽器にガット（羊腸）弦を張り、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会でソロと室内楽の研鑽を積む。同学大学院修士課程修了後ハンガリーに留学。NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF（オーストリア放送）の公開録音に出演。弦楽四重奏団メンバーとしての活動を経て、ソロリサイタルの開催他、「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」を継続。パークッションとのデュオ《羊とヤギ》でCD「O Terra（大地よ）」を発売。身体と演奏の繋がりを探り、耳を澄ませて楽器の音を引き出すアンサンブルワークショップも行っている。

塩谷牧子 *Makiko Enya, Guitar*

ベルギー、ブリュッセル王立音楽院を主席で卒業。フランス、パリ国立高等音楽院を一等賞で卒業。ギター科、室内楽科、音楽史科等を専攻。N. アルフォンソ、A. ラゴヤ、R. アウセル、フルーティストのC. ラルデの各氏に師事。日本の数々のコンクールで一位を獲得した後、16歳でデビューリサイタル。フランスの「プリュリエル・ドゥ・ラ・ギター」国際コンクール室内楽部門において3位受賞。パリ、ロンドン、ベルギーなど国内外においてテーマを持つコンサートを中心に、ソロや様々な楽器との室内楽などの演奏活動をしている。東京、京都を拠点にレッスンを行っており、オンラインでも国内、海外在住者に指導開始。

～新型コロナウイルス感染拡大防止対策について～

- *受付の混雑を緩和し、接触を減らすため、事前に代金の振込みをお願いします。入金確認後チケットを郵送いたします。
- *当公演は前半、後半とも30分前後の短めのプログラムとし、休憩時間に換気をいたします。
- *お客様間の距離を十分に保つため、定員72席のところ35席に限定いたします。
- *マスクの着用および入場時の手指消毒にご協力をお願いいたします。
- *チケットの裏面に、来場者のお名前・ご住所・電話番号をご記入ください（感染拡大防止のため、購入者ではなく実際に来場された方全員の連絡先を把握する必要があります）。チケットは受付にて回収いたします。
- *咳、発熱、頭痛など体調に異常がある方は、来場をお控えください。